

# 分電盤からの火災に注意!

特に作業場や倉庫、ビニールハウスなどに  
設置した分電盤から出火しています

## 主な火災の発生原因

- ネジの締め付けが緩く、電気抵抗が増大し発火
- 電線許容電流値を超えて電流を流したため加熱し発火
- 漏電した箇所がスパークして発火
- 低圧進相コンデンサの絶縁劣化により発火

## 故障や劣化のサイン!

- ブレーカーがよく切れる
- 分電盤から変な臭いがする
- 異音がする
- 照明などを取り換えても調子が悪い
- 機器のふくらみや変形が確認できる

低圧進相コンデンサからの火災が、全国的に増加しています。

- 低圧進相コンデンサ内の絶縁油は経年劣化するため、絶縁が弱まりショートして出火するおそれがあります。
- 1975年(昭和50年)以前に製造された低圧進相コンデンサは、安全装置が内蔵されていないため使用を停止、または、交換をしましょう。

▶ 長年ご使用の「低圧進相コンデンサ」は発火の危険性があります!

(一般財団法人日本電機工業会)

CLICK!



電気工事士資格のない素人配線工事はやめましょう。

- 配線の接続不良(ゆるい、誤接続)等により出火するおそれがあります。
- 電気工事は専門業者にお願いしましょう。